

俳句

蕪村 ぶそん

夏川と なつかわ く う 〽

夏川と なつかわ 〽

越すうれしさよ 〽 〽 〽 〽 〽 〽  
 手に草履 て 〽 〽 〽 〽 〽

越すうれしさよ 〽 〽 〽 〽 〽 〽  
 手に草履 て 〽 〽 〽 〽 〽

【作者】与謝蕪村（二七一六〜一七八四）江戸中期の俳諧師で画家。芭蕉や一茶と並び称される

巨匠の一人で、江戸俳諧中興の祖と言われる。

【歌意】夏の暑い日に道を歩いてみると、小さな川があった。履いていた草履を脱いで手に持って川を渡ると、水は冷たく気持ち良い。子供の頃に川を渡った事が思い出された。